



# 田川地区平和センター

鶴岡市泉町8番57号 メール:tagawachiku-heiwa@sound.ocn.ne.jp URL https://ta-heiwa.com/

編集発行  
田川地区平和運動推進  
労働組合センター教宣部



## 連帯 支援

アジア・アフリカ支援米、鶴岡市子ども食堂にはえぬき贈呈！

5月に田植え、10月に稲刈り、マリ共和国には160キロ送付

## 未来担う子どもたちのために

支援米実行委と  
鶴岡市子ども食堂へ米100kg贈る

食と水・水を守る山形県労働市民会議アジア・アフリカ支援米実行委員会（荒井滋議長）と鶴岡協同ファーム（鶴岡市高坂、五十嵐一雄社長）は11日、「鶴岡市内で活動すること、も食堂で活用してほしい」と、はえぬき100kgを鶴岡市に寄贈した。

田川地区平和センターの関係者などで構成する同実行委は、1997年から減反田を活用して作った支援米をアジア、アフリカの途上国へ送っている。当初はカンボジアなどアジア諸国に寄贈していたが、近年はアフリカのマリ共和国に送っているという。近年の物価高騰を受けて一昨年から「地域の未来を担う子どもたちからしっかりと食事を取ってほしい」と、鶴岡市を通して市内で活動することも食堂へ米を贈っている。鶴岡協同ファームは現場を提供するだけでなく、実行委の委託を受けて贈呈した。



この日は本間悟副議長と小泉信三顧問、鶴岡協同ファーム社員の五十嵐翔馬さんが市役所を訪ね、精米した10kg入りのはえぬき10袋を鶴岡市市長に手渡した後、本間副議長が「子どもたちの健康増進のため役立ててほしい」、小泉顧問が「地域の協力で支援米の取り組みを続けられていて、ぜひこの米を食堂で使ってください」とそれぞれあいさつした。

これを受け、皆川市長は「米価が上昇する中、子どもたちのためにたくさんのお米を頂き、感謝申し上げます。関係者へしっかりと渡したい」と謝辞を述べた。

今回寄贈された米は、市内でも食堂等地域ネットワークを通じ、鶴岡市内で活動することも食堂へ配分される。

「子ども食堂で活用して」と、鶴岡協同ファームの五十嵐さん（中央）と支援米実行委の本間副議長（左）が鶴岡市へはえぬき100kgを贈った。



田川地区平和センター等で構成する「アジア・アフリカ支援米実行委員会」は、支援米の生産とアジア・アフリカの飢餓国への贈呈に取り組んでいます。近年はアフリカのマリ共和国に贈呈しています。昨年から「日本国内でも貧困で困っている子どもたちがいるので、子ども食堂に贈呈しては」と提案があり、鶴岡市を通して子ども食堂に贈呈しています。11日は支援米実行委員会からは60kg、鶴岡共同ファームからは0kg、合計100kgのはえぬきを贈呈しました。

実行委員会では、鶴岡市民田の五十嵐一雄さんの圃場を借りて5月に田植え、10月に稲刈りを実施しています。子どもたちも田植えや稲刈りを体験しています。是非参加下さい。

また、田植えの時に苗を持参したバケツに苗を植え育成し、稲刈り時には、バケツ稲コンテストを実施しています。賞品もあります。



《東北労働金庫鶴岡支店》  
生活応援バンク 鶴岡市末広町1-12  
TEL22-3147  
ろうきん  
労働者のための、ふれ愛バンクです

こくみん共済 coop <全労済>  
共済ショップ 鶴岡  
鶴岡市泉町8-73 TEL 23-6100  
全国労働者共済生活協同組合連合会

いつまでも住みつづけられるまちづくりをめざして!  
生活協同組合 共立社  
COOP 本部 鶴岡市宝田一丁目3-23  
TEL0235-22-5110 FAX23-9148